PIONEER 道を切り拓く～

入野小学校　第6学年
学年だより　第１４号
令和４年　６月１４日

自分とは違う考え・思い・文化の人を排除しない

６月８日（水）玉城ちはるさんをお迎えして、はごろも「夢」講演会を開きました。まず、「『異文化』と聞いて、思い浮かぶことは？」と、ちはるさんが子供たちに優しく問い掛けます。じっくり考えていた子供たちの中から手が挙がり、発言したどんな子の解答も、受け止め拍手で返してくれました。そして、ちはるさんの「多文化共生」という生き方を、エピソードを交えながら、子供たちに語り掛けてくれました。

体当たりの生き様と、その中で絞り出した感情を歌詞に表した「歌」で体育館が“笑って　泣いて　またわらう”ちはるワールドに包まれました。以下にちはるさんのメッセージの一部と子供たちのお礼の手紙を紹介します。

私の失敗：自分の価値観を絶対に正しいと思って、相手の行いを非難してしまった。

気付き：私は、あなたのことを全部は知らないよ。
あなたのことが好きなの。
だから、あなたのことを知りたい。
言葉で伝え合わないと分かり合えない。

【大事なことは対話すること】

♫　ヒトリゴト　♫

怒っているのは　嫌いだからじゃない
閉ざしている君が　もどかしいから
黙っていたのは　意地悪なんじゃない
君の言葉　待っているんだ

信じていいよ　いつもここにいるから
帰っておいで　二人でね　語り合おう

手をつなごう　よく見せて
こわれかけた心ごと
大丈夫　何度でも
君を愛してみせるから･･･

作詞：玉城ちはる

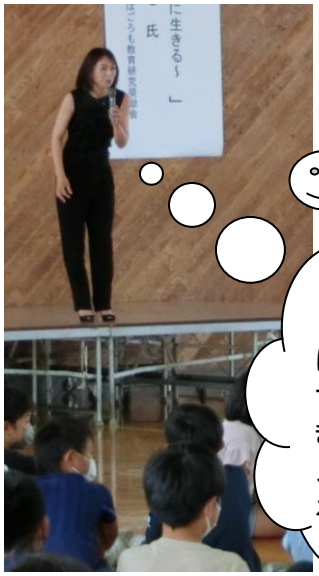
H.H さん　僕が学んだことは命のこと。ちはるさんは、韓国や中国の人のホストマザーをしていてすごいと思った。そして、2000 人を超える小、中、高校生や大学生の相談に乗っていることもすごいと思った。また、ちはるさんのお父さんは自死してしまったのに、あんなに元気で笑顔いっぱいなのが不思議に思った。けれど、泣かないで笑顔でいることに感動した。僕も、ちはるさんのように強い心や勇気をもちたい。

U.Y さん　文化や言語、食文化などたくさんの違いがある韓国や中国生まれの 36 人の人たちのホストマザーになったちはるさん。10 年間も暮らすことができて、すごいと思った。私のクラスにも外国にルーツがある子がいるので、たくさん話してコミュニケーションをとりたい。また、いつも家事をしているお母さんに「ありがとう・ごめんね・大好きだよ。」と伝えたいと思った。

あと、10 カ月ほどで私は中学生になる。新しい友達ともたくさん遊んだりコミュニケーションをとったりしたいと思った。

H.R さん　話を聞いて、僕は周りの人を大切にしていきたいと思った。なぜなら、自分の一方的な考え方で相手の気持ちを聞かず、相手を責めてしまったら傷つけてしまうからだ。相手の考えや理由を聞いて、一緒に話し合っていきたいと思った。また、日本人だけではなく外国の人とも、それぞれの文化に寄り添って、関わりをもっていきたい。もし、困っている人がいたら、「大丈夫？」と声を掛けることができるように頑張りたい。学んだことを生かしていきたい。

講演後には、子供たちからの相談タイムでした。子供たちの本音の思いにも、ユーモアを交えながら、相談者が最後には笑顔になるような解答をしていただきました。



お母さんが、僕に対して、一言多いときがあります。そんなとき、どうすればよいですか。

【ちはるさん】
あなたのお母さんは頭の回転が速くて、とても賢い人よ。きっと、あなたもその良さをもっていると考えるといいかな。

僕は何かにチャレンジして、失敗してしまうと、自分を責めてしまいます。そんなとき、どうすればよいですか。

【ちはるさん】
自ら、動いてチャレンジしたからこそ、失敗という経験をしたのだね。私もたくさん失敗している。失敗したからこそ、たくさん学んで、成長することができたよ。

※けんかをしたときは**「やさしさ貯金ゲーム」**をやってみよう。
やり方は「相手の直してほしいところといいところを、互いの目を見ながら、話す。その最後には、**ありがとう・ごめんなさい・大好きだよ。**と声を掛け合う。

※自ら動き出せる人になってほしい。自ら動いてチャレンジしたからこそ、失敗をする。失敗から学んだことを生かしていけばいい。
でも、自分に自信がなくて動き出せないことだってある。
そんなときは、「誰か助けて、私一人ではできない。」と言葉で伝えていこう。きっと、あなたの言葉から、あなたの気持ちを分かってくれる人が、手を差し伸べてくれる。

【大事なことは対話すること】

O.S さん　ちはるさんから、生き方について学んだ。教えてもらった「貯金ゲーム」を、親や弟とけんかしたときにやろうと思った。そして「ありがとう、ごめんなさい、大好き。」ということを親にも伝えてみようと思う。また、ちはるさんの困っている人を助けていくという生き方を、私もまねしたい。さらに歌声に感動した。しかも手話をつけながらの歌は、とてもすてきだと思った。

U.S さん　一人一人がそれぞれ違う価値観をもっている。だから、自分の価値観を押し付けてはいけない。相手がよいと思ってやったことを自分の価値観で否定してしまったら、相手は嫌な気持ちになることを知った。とくに異国の人は、文化や考え方が違うので、気を付けて接することが大事だと思った。また、「自分から動き出す」という言葉は、僕の力になった。僕は、失敗を恐れ、発表もあまりしない。けれど、自分から動き出せば、みんなもついてきてくれる。失敗があるから、成功すると話していた。だから、これから自分から動いていきたい。

F.Y さん　心に残ったのは、相手のことを知ろうとすることと、対話することが大切なんだという話だ。そして、ちはるさんが歌った歌は、どれも心に響き、とても素敵な歌だなと思った。私は、今年、６年生として下級生や友達の気持ちが分からないと思ったら、対話をして相手のことを知ろうと頑張っていきたい。私は、児童代表として、ちはるさんにお礼の言葉を伝えた。少し、恥ずかしかったけれど、ちはるさんにお礼の言葉を言えて、よかった。

♪♪　私は生きている　♪♪

「生まれてこなければよかった」
そんな事思ってはいけませんか？
生きるのは苦しい
愛すると悲しい
夢見たら辛い
笑うなんてできない

「そうだね」あなたはうなずいて
震える体を抱き寄せた
生きるのはうれしい
愛するとあったかい
夢見たら楽しい
笑いあう喜び…

作詞：玉城ちはる